

# 西日本ネットワーク

中国・四国・九州・沖縄

JAPAN METAL BULLETIN Local Network

福岡支局

FUKUOKA

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前4丁目14番1号

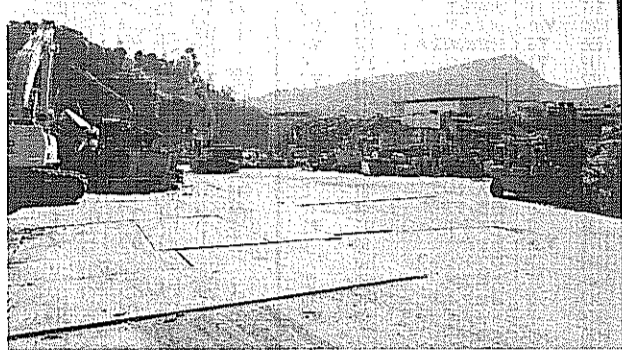
深見ビル

TEL (092) 472-3887 FAX (092) 472-3888

新生

## 本社ヤードを拡張

### 総合化・一貫化を推進



拡張したヤード

【福岡】福岡地区の有効なスクラップヤードディーラーである新生(本社福岡県糟屋郡宇美町、田代将勝社長)は、廃棄物を含めた総合リサイクルと自社一貫リサイクルを推進するため、このほど本社を拡張し、体制を整備した。拡張部は約8000平方メートル、本社の面積は合計約2万8000平方メートルとなった。

総合リサイクル化と自社一貫リサイクルを推進する上で、現在、シュレッダーの導入に向けて準備を進めている。シュレッダーでは自動車や産業廃棄物など、

また、ヤードの整備に加えて、近年では従来の加工設備や重機のリースを進め、効率を高めている。本社は昨年、ギロチンへの投入や積み下ろし用として南星機械製の定置式スクラップローダーを導入したほか、住友建機製の重機を増車。特にスクラップローダーは効率の向上に加えて、ランニングコストも低減されることから福岡支店への設置も検討している。今年には非鉄の加工処理能力向上を目的に加藤製作所製のミニ油圧ショベル6台をリースした。従来のより小型のショベルを導入することで作業スピードを向上させた。

同社は1963年創

業。本社に加えて福岡支店(福岡市東区)、早見支店(福岡県糟屋郡宇美町)を展開する。本社と福岡支店に1250トンのギロチンを設置し、鉄スクラップや建設廃材の加工処理を行うほか、廃自動車の処理などを手掛ける。また、関連会社では、がれき類のリサイクルや重機メンテナンスを行っている。

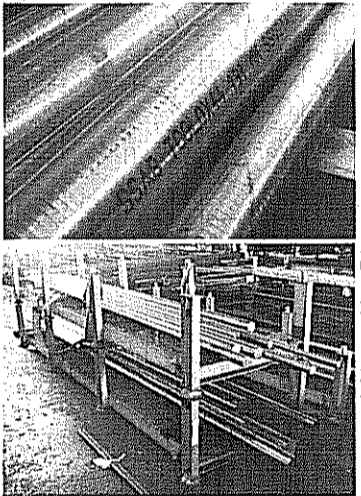
大阪鋼管 海外事業部を創設 東南ア中心に受注開始

【佐世保】冷間引き抜き管メーカーの大阪鋼管(本社長崎県佐世保市、坂根康伸社長)はこのほど海外事業部を創設した。東南アジアを中心に営業展開を行う。同社は、社員の英語学習を開始。TOEICなどの受験も始めている。現在は地ならしの段階だが、今後数年をかけて事業の柱に育てていく考え。

共和工業所

## SSAB社の機械構造用鋼 トールックス扱い開始

【倉敷】産業機械製作、鋼材加工業の共和工業所(本社岡山県倉敷市、石本隆一社長)は10月から、スウェーデンスチール社(SSAB社)製の機械構造用鋼・工具鋼「TDO DOX」(ハードドックス)とともに、市場調査やサンプル出荷などを進めて、需要分野の



トールックス(左)と在庫の様子

の加工販売を始め、同製品の取り扱い。日本国内では初めて。注力するSSAB社の耐摩耗鋼「DOX」(ハードドックス)とともに、市場調査やサンプル出荷などを進めて、需要分野の

【倉敷】産業機械製作、鋼材加工業の共和工業所(本社岡山県倉敷市、石本隆一社長)は10月から、スウェーデンスチール社(SSAB社)製の機械構造用鋼・工具鋼「TDO DOX」(ハードドックス)とともに、市場調査やサンプル出荷などを進めて、需要分野の

共和工業所は2009年にSSAB社の製品取り扱いをスタート、12年に認定加工工場となった。15年8月の売上高は10億6000万円、業績は前期とほぼ横ばい。16年8月期は11億円の売り上げを計画する。ハードドックスの加工体制強化を進めており、500トンのプレス機や切削加工設備の導入などを行っている。

機動隊員等を励ます会 中国支部総会に260人

【広島】機動隊員等を励ます会中国支部総会を主催する中国支部は27日、広島市内のホテルで第39回中国支部総会を開催。約260人が参加した。

冒頭、堀口勝哉・中国支部長(堀口海運社長)は「今年も機動隊の皆さまには国民、県民の安心・安全のために大活躍をいただいた。危険を顧みず、人命を犠牲にせず、命がけで立ち向かった

皆ごまに心から敬愛感謝の意を表したい」と述べた。

続いて、同会の副理事長は「日本は、熟した民主主義国であり、国民がさまざまな意見を表明する自由を認め、国民がさまざまな意見をもとに一つ一つの国を築き上げて、安全な国をつくりだしている。我々も機動隊として暮らせる国を作っていくというのが私たちの責任だと思っております。われわれ経済界人間も協力を惜しまないが、そのためには

## 中四国支社

渡邊信治支社長に聞く

【EX-1】中四国支社は2020年の住宅の省エネルギー基準適合義務化を見据え、住宅の省エネルギー化に対応する高性能製品の販売に注力、今年4月には中国支社、四国支社を統合するなど営業体制の強化も図った。

渡邊信治・中四国支社長に今年度の推移や見通し、営業方針について聞いた。

15年度上期の状況 先々の需要をみる一つのバロメーターとして

と地方都市で環境は変わってきている。同じように地方都市でも都市部とそれ以外の地域では市場環境が変わってきているし、ニーズも違う。中四国エリアは瀬戸内海沿岸の比較的人口が多い工業地域、日本海に面した山

候や風土、そして市場も異なる。例えは山陰エリアであれば、多く雪が降る一方、太平洋側では雪は少ない反面、台風が多い。瀬戸内海沿岸は非常に晴天率が高く、太陽光の恩恵を受ける部分が多くなる。中四国支社の営業体制は、「営業拠点として支社の中に、中国エリア

ルギー基準への適合義務化に向けてのさまざまな動きがある。当社も補助金、地域型住宅ブランド化事業などの情報提供を行っている。その中でGood Livingフォーラムの「ブレイク」の2製品を売った。従来のものから性能、デザイン性の向上したものを付け替え、需要というも期待され、金庫製品以外ではキッチン、浴室、トイレ、活動内容はエリアごとに特色を持ったも

広島で鋼構造実見学会

【広島】日本建築

## 全国仮装大会フォトコンテスト選考会開く



9月末に広島県尾道市で行われた「全国仮装大会」の受賞作品が決定した。

フォトコンテストは第5回の開催イベント。2回大会から行われ、今年で3回目になるが、全

会27日、尾道国際ホテルで開かれ、グランプリ、2800点の応募があった。仮装大会でこれぞベストショットとそれが胸を張る力作ぞろい。その中からグランプリに山本清博氏(広島県三原市)、準グランプリに木原一好氏(福山市)、会長賞に多田剛雄氏(尾道市)、委員賞に神界氏(広島市)の作品が選ばれ、そのほか30作品が入賞した。

選考会後、平谷祐宏大会会長(尾道市長)、高橋貞昭大会実行委員長(山陽工業会長)、鍛冶川孝雄副実行委員長(朝日屋社長)らが入賞作品を見て回り、大会を振り返りながらその出来栄に感心していた。

入賞作品は30日から11月3日の5日間、尾道本通り商店街のギャラリーで開催。仮装大会写真展?015」に展示される。入場は無料。

【尾道】

